

予算決算委員会建設分科会記録

[第1日目]

1 日 時 令和2年3月13日（金曜日）

開 会 午前10時08分

休 憩 午前10時49分

再 開 午前10時53分

散 会 午前11時21分

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員 8人

分科会長 押 田 大 祐

分科会副会長 尾 上 一 彦

委 員 岡 部 享

// 竹 田 勝

// 小 西 直 樹

// 村 上 和 久

// 村 家 博

// 五 本 幸 正

4 欠席委員 1人

委員 堀江 かず代

5 説明のため出席した者

【活力都市創造部】

部長	前田 一士
理事（活力都市創造担当）	後藤 衛
部次長	大沢 一貴
部次長（技術担当）	中村 雅也
参事（建築指導担当）	栗島 正憲
参事（都市計画課長）	狩野 雅人
活力都市推進課長	金山 英樹
交通政策課長	村井 真哉
建築指導課長	佐藤 英子
富山駅周辺地区整備課長	山崎 哲志
路面電車推進課長	高田 秀昭
中心市街地活性化推進課長	小善 誠
都市再生整備課長	守山 裕一
居住対策課長	高森 隆
活力都市推進課主幹（調整担当）	桜井 光王

【建設部】

部長	中田 信夫
建設技術統括監	植野 芳彦
部次長	舟田 安浩
部次長（技術担当）	山元 政彦
土木事務所長	高松 信太郎
参事（営繕担当）	永川 武
参事（建設政策課長）	笹岡 覚
参事（河川課長）	酒井 正道
参事（橋りょう保全対策課長）	深山 隆
参事（土木事務所建設課長）	渡辺 政司
道路整備課長	奥田 孝治
道路管理課長	増山 和弘
公園緑地課長	村田 友康
防災対策課長	高柳 誠
市営住宅課長	片山 建
営繕課長	生田 朋道
土木事務所管理課長	野上 一成
建設政策課主幹（調整担当）	竹内 宗健

6 職務のため出席した者

【議会事務局】

議事調査課調査係長	牧野 仁美
議事調査課主任	牧石 真理
議事調査課主任	平瀬 航

7 会議の概要

分科会長 ただいまから、令和2年3月定例会の予算決算委員会建設分科会を開会いたします。

堀江委員から都合により欠席するとの連絡がありましたので、御報告いたします。

また、五本委員から都合により遅れるとの連絡がありましたので、御報告いたします。

審査に先立ち、分科会記録の署名委員に、竹田委員、小西委員を指名いたします。

なお、ただいま指名いたしました署名委員が欠席の場合は、当日出席の年長委員にお願いいたします。

当分科会に送付されました各案件の審査については各部局単位とし、お手元に配付してあります分科会審査順序のとおり行う予定であります。

本日は、活力都市創造部、建設部の補正予算等分の議案の審査を行いますが、質疑については議案に直接関係あるものだけにお願いいたします。

これより、活力都市創造部所管分の議案の審査を行います。

議案第55号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、活力都市創造部所

管分、第3条繰越明許費の補正中、活力都市創造部所管分、第4条債務負担行為の補正中、富山市まちなか賑わい広場管理運営費を議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

活力都市創造部長 〔挨拶〕

活力都市創造部次長 〔議案第55号中
活力都市創造部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

交通政策課長 〔議案第55号中
公共交通活性化補助事業について、
生活交通維持補助事業について、
議案説明資料により説明〕

富山駅周辺
地区整備課長 〔議案第55号中
富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業
（公共交通運行安定化対策補助金）について、
富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業
（駅周辺等整備）について、
富山駅周辺地区土地区画整理事業について、
議案説明資料により説明〕

路面電車推進課長 〔議案第55号中

富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業
（路面電車南北接続事業）について、
富山港線路面電車事業について、
富山港線路面電車事業助成基金の積立につい
て、
議案説明資料により説明]

都市再生整備課長 〔議案第55号中
地域拠点整備事業について、
中央通りD北地区市街地再開発事業について、
議案説明資料により説明]

居住対策課長 〔議案第55号中
まちなか居住推進事業について、
公共交通沿線居住推進事業について、
議案説明資料により説明]

活力都市創造部次長 〔議案第55号中
繰越明許費について、
議案説明資料により説明]

中心市街地
活性化推進課長 〔議案第55号中
債務負担行為について、
議案書により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

小西委員 議案説明資料の10ページですけれども、地域拠点整備事業で「富山～東富山」駅間新駅東口の駅前広場の実施設計、これが全額削減されています。これは来年度に延期になるのだというふうに思いますけれども、全体的な計画に遅れが生じるのではないかと思います。その辺の計画というか開業するまでの見通しはどのような状態でしょうか。

都市再生整備課長 このことにつきましては、同額を令和2年度予算に計上しております。
スケジュールにつきましても、これは広場設計のもので、今お聞きしているスケジュールには間に合うものと考えております。

小西委員 問題ないということで、遅れは生じないということですね。

都市再生整備課長 そうであります。

竹田委員 議案説明資料3ページの生活交通維持補助事業についてですが、補助金が減額になっているわけで、生活バス路線維持費補助金の991万6,000円は、収支改善による補

助金の減と内訳に記載されております。この収支改善はどのような要因により改善されたのか、もう少し詳しく教えてください。

交通政策課長 こちらのほうは、生活交通の維持あるいは確保を目的に、赤字のバス路線に対して補助するというものでございまして、今回、利用者の増加によりましてそれが黒字化したということで、補助は不要になったというものでございます。

竹田委員 黒字化したということで大変いい話だろうと思います。

それと、もう1点、地域自主運行バス事業補助金の732万6,000円の減なのですが、婦中コミュニティバス音川地区デマンドタクシー運行費の減等となっております。当初の利用予測あるいは利用実績が大幅減になったことに対する問題点についてお願いします。

交通政策課長 婦中地域については、これまで市営であったものが地域自主運行バスに移行するということになりまして、地域のほうでは山手ー中山間の音川地区については、ドア・トゥ・ドアのデマンドタクシーをどうしてもやりたいというようなことがありました。

ただ、やはり利用されないものでは駄目だということから、ある一定の目標を定めようということで、大沢野シルバータクシーの利用状況を見ながら、ある一定の目標を定めたのですが、昨年4月から12月まで実際に運行した中ではやはり利用がなかなか伸びず、目標と実績に大幅な差異があったということから、取りやめになったということです。

竹田委員 音川地区のデマンドタクシーにつきましては、取りやめ一運行を停止するというのを伺っているわけなのですが、どうしてそのように見込みとは違ってきたのか、その辺りの所感をお願いします。

交通政策課長 地域の方にいろいろと聞きますと、事前の予約が面倒であるとか、あるいは定時定路線一決まった時間に決まった路線で運行するほうが安心であるなどという意見、さらには、音川地区には移動販売車が週2回来ているのですが、その辺が非常に好調であったというようなこともお聞きする中で、やはりニーズが、スタート時点で少しかみ合わなかったということが要因と考えられます。

竹田委員 私の意見というか受け止めをお話ししますと、

何となく、この地域バスなり、あるいはデマンドタクシー、こういうものは、意外と計画したときには利用したいというような声のほう大きい声として届けられるのですが、いざ利用の段になると、真のニーズはあまりないような印象を受けます。そういう面で、ニーズの把握と実際の運行した場合の実態とのギャップがどうしても出がちですね。こういう地域の交通手段については、特にマイナスにぶれるケースが多いわけですね。ライトレールのようにプラスに大化けするケースというのはやや少ないかなというのが私の感想です。

岡部委員

議案説明資料4ページの富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業（公共交通安定化対策補助金）の321万9,000円ですけれども、これは補正の目的としては、一時的に費用負担が増大という表現だけなのですけれども、どのようなものが増大したのか少し具体的に教えていただきたいと思います。

富山駅周辺
地区整備課長

今、御質問の一時的ということをお答えさせていただきます。

まず、その前に、富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業に伴いということに記載させていただいておりますが、富山駅周辺地区

の南北一体的なまちづくり事業につきましては、富山駅付近連続立体交差事業や関連街路整備事業、そして土地区画整理事業など、県、市、また鉄道事業者と協力しながら進めているところであります。

その中で、一時的に増大する費用としましては、連続立体交差事業に伴う鉄道事業者の負担金ですとか、事務手続などの人件費や事務費、そのほか、連続立体交差事業に併せて改修された場合の施設の改修費や、新たに発生する土地の活用に関する費用、そういったものが考えられると思っております。

こういった一時的な費用負担により、公共交通の運行などのサービスが低下し、市民の生活に大きな影響を及ぼさないよう補助をするものとしております。

岡部委員 これは1回限りの負担なのかどうか伺います。

富山駅周辺
地区整備課長 今回は321万9,000円ということで、今年度分として補正を出させていただきました。この南北一体的なまちづくり事業につきましては、今年一来週末に路面電車の南北接続は終わりますが、富山地方鉄道本線の連続立体交差事業、土地区画整理事業はまだまだ続きます。この事業を行う中で、サービス低

下を招かないように補助が必要だというふうに考えております。

岡部委員 それは具体的に令和2年度の当初予算には計上してあるのですか、ないのですか。

富山駅周辺地区整備課長 令和2年度の予算にも計上しております。

岡部委員 分かりました。
続けて質問してもいいですか。

分科会長 はい。

岡部委員 ページが少し戻りますけれども、議案説明資料2ページ、公共交通活性化補助事業の件で、これは恐らく事業者一あいの風とやま鉄道が新駅設置工事の入札をしたということで、工事費一報道によれば14億6,000万円みたいなことが書いてありましたけれども一が確定して、大体1億4,000万円余りが不用となったということで減額をするということでもいいのでしょうか。

交通政策課長 あいの風とやま鉄道のほうから事業費が最終確定し、議案説明資料に記載のとおり、補助

金ベースで1, 446万8, 000円減額ということで了解を得ながら進めております。

岡部委員

内訳について先ほど具体の説明がなかったのですがけれども、工事費用を国、県と共に支援というものと、事業者負担を県と共に支援ということで2本立てになっています。金額は2つとも723万4, 000円ということなのですがけれども、これは、それぞれ工事費全体に対する、国や県、市の、あるいは事業者の負担割合というのが多分あると思うのです。その負担割合というのはどのような形になっているのですか。

交通政策課長

国が3分の1、地方が3分の1、事業者が3分の1というスキームでございます。1つ目につきましては、地方負担の3分の1のうち、県と市で折半する分です。2つ目は、事業者負担の3分の1のうち、これも同様に県と市で折半する分ということでございます。

岡部委員

では、率直に言って、事業者負担はゼロということになるのでしょうか。

交通政策課長

県あるいは市町村、民間が出資する第3セクターのあいの風とやま鉄道に対しまして、地

域がしっかりと支えていくという立場からそのような形になっております。

岡部委員 もう1つ関連して、先ほど小西委員も質問されましたが、議案説明資料10ページの地域拠点整備事業の補正の関係で、ここの部分は全額を削減する補正で繰越しという対応はなかったのかどうか、お聞かせください。

都市再生整備課長 繰越しではなくて、令和2年度予算に新たに計上する形です。

岡部委員 意味が少し分からないのですけれども。

都市再生整備課長 こちらにつきましては、駅舎本体等の工事の兼合いもありますので、完成時期が少しずれ込む可能性もあります。そのため、今回は予算を繰り越さずにもう1度来年度予算に計上させてもらいました。

活力都市創造部長 今の御質問につきましては、来年度予算に事業費を計上し、来年度改めて国の予算、補助を受け入れるための措置を取っております。今年度は、あいの風とやま鉄道そのものが一もともと開業時期が令和3年春と言っていたものが令和3年10月というふうになりました

た。駅舎の設計も決まるのが遅かったもの
ですから、駅前広場の設計をするにも、まず駅
舎の位置が決まらないことには駅前広場の設
計もできないというような事情もありました
し、富山市の事業費に対する国の補助内示も
なかったという事情がございましたので、繰
越しというよりも一旦これは減額して、改め
て令和2年度の当初予算で設計費を組んで、
それから国の補助も頂くとというようなことで、
財源もそれを見込んでいるわけです。
もちろん開業までには駅前広場についてはし
っかりと整備をしていきたいというふうに思
っております。

岡部委員 内容は分かりました。
要望ということで1点だけよろしいですか。

分科会長 はい。

岡部委員 昨日の一般質問で上野議員がこの新駅周辺の
話をされ、活力都市創造部長の答弁では、駅
舎、それから東口広場、西口広場、それと、
それにつながる道路の話をされたと思うので
す。私たちにすれば全体的な予算が見えない
というか、新駅全体の予算が見えないもので
すから一駅舎の事業費は十四億何ほみたいな

ものが出ていますけれども一できればそれぞれの事業費、負担割合などを分かれば年度ごとに表にさせていただきたいなど、こういうふうに思っています。今日はいいですけれども、要望です。

分科会長 では、今の意見は要望としてください。

小西委員 議案説明資料11ページの中央通りD北地区市街地再開発事業ですけれども、6億800万円が減額になっているわけです。これは、当初より事業の見込みが遅れているということなのですけれども、全体のスケジュールに遅れが出てくることになるのでしょうか。例えば本会議で東議員が一般質問されたのですけれども、プレミスタタワー総曲輪の1階、2階の商業スペースも既に最初の計画よりも遅れているということなのです。さらにこの中央通りD北地区市街地再開発事業も遅れていくという状況が出ているのではないかとこのように思いますけれども、事業が遅れている原因についてはどのようになっているのかお伺いします。

都市再生整備課長 今現在、再開発組合の設立に向けまして、事業計画を作成している段階であります。

その作成の中で、主に工事費の高騰などによりまして資金計画がなかなかまとまらないため、設立が遅れているというふうに聞いております。

村上委員 路面電車南北接続事業ですが、交通信号の改良が必要だったということなのでしょうけれども、どういう改良が必要とっていたのが必要なくなったのか、ちょっとイメージできないので教えてもらえますか。

路面電車推進課長 この路面電車の交通信号につきましては、今回、南北の路面電車が接続しまして、1つのネットワークとして新たに事業が始まるわけですけれども、その中で一軌道が延びましたものですから一これまでの定時運行を確保するために、通常の軌道信号と併せて、交通信号についても、車よりも路面電車の一要するに、検知をした瞬間に路面電車を優先させるような交通信号の改良を予定しております。これは富山県警の管轄になるものですが、昨年の段階では、実際に予算化していただけるかどうか分からないというような状況もありまして、市で予算化させていただいておりました。しかし、県でも予算化されたことから、市ではその改修が要らなくなったの

で、今回減額させていただくということになりました。

小西委員 議案説明資料12、13ページ、まちなか居住推進事業と公共交通沿線居住推進事業は、2,500万円、4,100万円といずれも減額になっているわけです。当初の見込みよりも件数などが少なくなって、だから減額をしたというふうに取れるのですけれども、もしそういうことでしたら、その理由をそれぞれ教えていただけますか。

居住対策課長 この減額につきまして、まずは、まちなか居住推進事業費のうちの住宅取得支援補助金につきましては、これはまちなかで住宅を取得される、一戸建てを建てられる、あるいは分譲マンションを取得されるという方に対する補助でございますが、主に分譲マンションの取得に関して、交付申請が見込みより少なくなったことから減額が生じているということでございます。

その理由につきましては、詳細な分析を行ったわけではございませんが、この補助金につきましては、分譲マンションの取得に当たっては、金融機関からの借入、住宅ローンを組むということが要件となっております。これ

は推測ではございますけれども、分譲マンションを取得される方のうち、住宅ローンを組まずに買われる方が一定程度いらっしやったのではないかというような、これは推測の域を出ませんけれども、そのようなことがあったのではないかと考えております。

村上委員 推測は推測でいいのですが、心配なのは、予定よりも少なかったと、要は、まちなかに住もうという意欲が減っているのではないかな、あるいは景気が悪くなっている、減速しているのではないかということをも少し心配したのです。

来年度の当初予算の審査はまたありますので、それは次のときに聞かれたらどうかなと思います。

活力都市創造部長 減額補正を出すと、皆さんにそういった間違ったメッセージを与えることになるのではないかと少し私も心配だったのですけれども、はっきり言いまして、当初予算のときに少し多く計上したというところもございまして、御案内のとおり、富山市のまちなかでのマンション建設の民間事業者の意欲が衰えているというようなことは決してございません。ただ、これについては、マンションが完成して

も、移転して、住民票をしっかりと移していただいてから初めて申請が可能ということになります。丸の内でも2月にマンションができて、引っ越しなども進んでおります。我々はそういったことも含めて、令和元年度分として全部一皆さんが住民票を早く動かして、すぐに補助申請があることに備えまして、件数もある程度見ておりますので、今年度申請されなかったものは、当然、来年度以降に申請が上がってくるというふうに思っております。

トータルとしては、やはりまちなかでの住宅購買意欲といたしますか、事業者並びに市民の方の意欲は高いというふうに認識しておりますので、今、御指摘にありましたように、来年度予算の中ではあまりたかをくくらずに、しっかりと現実を見て計上するように努めたところでございます。

尾上委員

多分市としては、こういう補助メニューがあるということは十分にPRはしておられるのだと思うのです。例えば、県内、市内の金融機関に行って、住宅ローンを組みたいのですけれどもと言ったら、こういう補助金がありますので住民票を移されたときに申請してくださいねとかということも言っただけ

のだとは思うのですけれども、例えば県外から来られる人で、県外の金融機関を使うなどした場合にはどうなるのですか。この補助金のメニューのPRはどのようにされているのですか。マンションを買って、住民票を移されるときに、もしローンを組んでおられたらこんな補助金をもらえますよというようなことは言っておられるのですか。

分科会長 県外の方へのPRの仕方ということですね。

活力都市創造部長 例えば東京にお住まいの方が富山市のマンションに住みたいということであれば、当然、そのマンションの販売業者に申込みするわけですから、富山市ではこういう施策をやっているということは、マンション販売業者が既にその方にお伝えしておられると思います。それは我々が確認するまでもなく、当然そのように周知していらっしゃるというふうに思っております。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第55号中活力都市創造部所管分の意見の表明を行います。
意見の表明はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、建設分科会活力都市創造部所管分を終了いたします。

午前10時49分 休憩

~~~~~

午前10時53分 再開

分科会長 これより、建設分科会建設部所管分の議案の審査を行います。

初めに、本日午前2時に石川県を震源といたしました最大震度5強の地震がございました。富山市のほうでも震度4と、かなり大きく揺れました。建設部の皆さんは対策本部の設置等で本当にお疲れさまでございました。

それでは、

議案第55号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、建設部所管分、第2条継続費の補正中、建設部所管分、第3条繰越明許費の補正中、建設部所管分

議案第65号 令和元年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計補正予算（第1号）

以上2件を一括議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

建設部長 〔挨拶〕

建設部次長 〔議案第55号中  
建設部所管分の概要について、  
議案第65号について、  
議案書及び議案説明資料により説明〕

防災対策課長 〔議案第55号中  
防災事務費について、  
議案説明資料により説明〕

道路管理課長 〔議案第55号中  
道路維持補修事業費について、  
議案説明資料により説明〕

土木事務所建設課長 〔議案第55号中  
雪対策事業費について、  
議案説明資料により説明〕

道路管理課長 〔議案第55号中  
リフレッシュ事業費について、  
議案説明資料により説明〕

道路整備課長 〔議案第55号中

市道整備事業費について、  
都市基盤整備基金費について、  
街路整備事業費について、  
道路景観形成事業費について、  
議案説明資料により説明]

建設政策課長 〔議案第55号中  
県単独道路改良事業等負担金について、  
議案説明資料により説明]

橋りょう保全対策課長 〔議案第55号中  
橋りょう維持補修事業費について、  
議案説明資料により説明]

河川課長 〔議案第55号中  
河川水路整備事業費について、  
浸水対策事業費について、  
火防水路改良事業費について、  
急傾斜地崩壊対策事業費について、  
議案説明資料により説明]

公園緑地課長 〔議案第55号中  
公園整備事業費について、  
呉羽丘陵フットパス連絡橋整備基金費につい  
て、  
議案説明資料により説明]

市営住宅課長 〔議案第55号中  
市営住宅バリアフリー化事業費について、  
議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

竹田委員 議案説明資料の17公園整備事業費について  
でございますが、記載の説明によりますと、  
土地開発公社保有の五福西公園用地を買い戻  
すものとして、③その他で3億3,447万  
9,000円が補正額として上がっております。  
富山市土地開発公社で買収したときの筆  
数や価格、また今回の買戻し金額は幾らにな  
るのか教えていただきたいと思えます。

公園緑地課長 今回、富山市土地開発公社で買収した用地に  
つきましては23筆ありまして、買収価格は  
2億7,323万4,740円となっております。  
それを、今回3億3,447万8,7  
68円で買い戻すこととしております。

竹田委員 今回、この補正予算を令和2年3月定例会に  
計上した特別な理由が何かございますか。開  
発スケジュールと併せてお聞かせください。

公園緑地課長 本定例会に提出した理由といたしましては、平成28年度以降、土地開発公社経営健全化方針の具体的事項として、借入利息の抑制という項目が上がっていることなどから、公社保有の土地については財政状況を鑑みながら、順次、買戻しを行っているところでございます。

本市では、これまでも計画的に公社からの買戻しを行っているところでございまして、今年度につきましては、この五福西公園用地を買い戻すものでございます。

尾上委員 議案説明資料の16ページ、交通安全施設整備事業費の補正が計上されているわけですが、昨年5月には滋賀県で大変痛ましい事故がありました。それに伴いまして、未就学児童が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検が実施されているというふうに思いますが、それに伴う予算はここに含まれているのでしょうか。

道路整備課長 今おっしゃいました議案説明資料16ページの(3)補正内容のところの、国の補正に伴う補正の事業内容の路線名を見ていただくと、田畑北部19号線外とあるのが、今、御指摘の未就学児が日常的に集団で移動する経路の

緊急安全点検に対応するものでございます。  
補正額といたしましては、国の補正に伴う2,315万円のうち、田畑北部19号線外に713万円という予定でお願いしております。

尾上委員 私の近所でも、県道などではもう既に工事を若干しておられるような感じがしておりますので、これからも児童・生徒に限らず、歩行者全般が安全に通行できる一富山市は歩くことを重点に考えておられますので、そういうところに十分目配りをしていただいて、直していただければというふうに思います。

小西委員 議案説明資料34ページの市営住宅バリアフリー化事業費ですけれども、860万円の減額になっているわけです。これは、希望者というか、要望が少なかったからこういう状態になったのですか。

市営住宅課長 こちらのほうは、計画を立てて行っているのですが、実は最近では毎年2戸ずつやっております。

というのは、まず、それなりの改修工事をするということで、1階が空いているときに工事をやっている関係から、対象となる戸数というものもありまして、それができたところに

希望者を募るという形を取っております。

小西委員      それでは、空き部屋がなくてできなかったということなのですか。

市営住宅課長      実は、予算は4戸で計上していたのですが、今回の国の補助内示が2戸だったということで、2戸でさせていただいたということで、2戸は今回はできなかったということになってございます。

分科会長      ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

分科会長      ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。

これより、議案第55号中建設部所管分、議案第65号、以上2件を一括して、意見の表明を行います。

意見の表明はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長      意見の表明なしと認めます。

以上で、建設分科会建設部所管分を終了いた

します。

これで、3月定例会の当分科会に送付されました補正予算分の議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和2年3月定例会の補正予算等分の建設分科会を散会いたします。